

2024 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	商業簿記2 (Commercial Bookkeeping 2) 2037-3-23-114					担当教員	中村 大輔 (ナカムラ ダイスケ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	2年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL/資格対応科目								

① 授業のねらい・概要
商業簿記1・2では、1年次配当の簿記入門の知識を前提とし、商品売買業およびサービス業における高度な簿記を学ぶ。特に商業簿記2では日常の取引に関する仕訳に加え、精算表や財務諸表の作成、本支店会計、連結会計という高度かつ難易度の高い内容を学ぶ。本講義は事務・経理職を目指すために必須の知識であり、日商簿記検定2級に対応する科目である。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
職業人として通用する能力/専門的知識・技能を活用する能力
③ 授業の進め方・指示事項
授業は講義・演習にPCを用いるのでPC必携である。毎回電卓を持参すること。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
「商業簿記1」「工業簿記1」「工業簿記2」と共に履修することを強く推奨する。
⑤ テキスト (教科書)
紙の教科書は用いない。代わりに『Funda 簿記』というPCを用いたシステムを利用し、個人アカウントを購入してもらう。(「商業簿記2」「工業簿記1」「工業簿記2」すべて共通)
⑥ 参考図書・指定図書
各年度に対応した予想問題集等。必要に応じて紹介する。
⑦ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 日常の取引について本質的に理解し、検定試験レベルの問題を解くことができる。 (ii) 精算表や財務諸表を作成でき、検定試験第3問レベルの問題を解くことができる。 (iii) 連結会計について理解し、連結精算表や連結財務諸表を作成でき、検定試験レベルの問題を解くことができる。

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 日常の取引に関する仕訳	難易度の高い検定試験レベルの仕訳問題を解くことができる	標準的な検定試験レベルの仕訳問題を合格レベルで解くことができる	検定試験レベルの問題は合格レベルに達していないが、基本的レベルの問題はほぼ正答できる	基本的レベルの仕訳問題について6割程度正答できる	基本的レベルの仕訳問題について正答が6割に満たない
(ii) 精算表や財務諸表の作成	難易度の高い検定試験レベルの問題を解くことができる	標準的な検定試験レベルの問題を合格レベルで解くことができる	検定試験レベルの問題は合格レベルに達していないが、基本的レベルの問題はほぼ正答できる	基本的レベルの問題について6割程度正答できる	基本的レベルの問題について正答が6割に満たない
(iii) 連結会計の理解と連結精算表・連結財務諸表の作成	難易度の高い検定試験レベルの問題を解くことができる	標準的な検定試験レベルの問題を合格レベルで解くことができる	検定試験レベルの問題は合格レベルに達していないが、基本的レベルの問題はほぼ正答できる	基本的レベルの連結会計に特有の仕訳ができる	基本的レベルの連結会計に特有の仕訳もできない

⑨ 学習到達目標 (評価項目)	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	80%	20%					100%
(i) 日常の取引に関する仕訳	35%	10%					45%
(ii) 精算表や財務諸表の作成	20%	5%					25%
(iii) 連結会計の理解と連結精算表・財務諸表の作成	25%	5%					30%
フィードバックの方法	小テストは採点して解答解説とともに返却する。						

⑩ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
Funda 簿記のシステムを利用することで、各自の理解度に合わせた問題を出題するなど、システムの良い点を活かしたい。

⑪ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	ガイダンス、商業簿記1の復習	商業簿記1の内容を復習しておく	120分
2	収益の認識基準	予習：収益認識に関する5つのステップを理解する 復習：指示された問題を解く	120分
3	外貨建取引	予習：外貨建取引と為替差損益について、為替相場とビジネスをつなげて考えてみる 復習：指示された問題を解く	120分
4	精算表と財務諸表	予習：検定3級レベルの精算表を復習する。前期からの内容を再度復習しておく 復習：指示された問題を解く	120分
5	税効果会計	予習：税効果会計の概略をつかんでおく。なぜ、税効果会計が必要になるかを、課税所得の計算を復習し確認する。 復習：指示された問題を解く	120分
6	帳簿の締め切り	予習：損益勘定と繰越利益剰余金勘定の作成について理解しておく 復習：指示された問題を解く	120分
7	本支店会計	予習：本支店間の取引について、本店側・支店側双方の処理方法を理解する 復習：指示された問題を解く	120分
8	連結会計①（連結会計とは、支配獲得日の連結）	予習：特に部分所有かつ投資消去差額がある場合の処理を理解する 復習：指示された問題を解く	120分
9	連結会計②（支配獲得日後1年目の連結）	予習：開始仕訳、のれん償却、子会社利益の処理、配当金の修正について理解する 復習：指示された問題を解く	120分
10	連結会計③（支配獲得日後2年目の連結）	予習：教科書タイムテーブルの書き方を学んでおく 復習：指示された問題を解く	120分
11	連結会計④（内部取引高と債権債務の相殺消去、期末貸倒引当金の修正、未実現利益の消去）	予習：特にダウンストリームとアップストリームにおける処理方法を理解する 復習：指示された問題を解く	120分
12	連結会計⑤（商品に関する未実現利益の消去、土地に関する未実現利益の消去）	予習：特にダウンストリームとアップストリームにおける処理方法を理解する 復習：指示された問題を解く	120分
13	連結会計⑥（連結精算表、連結財務諸表）	予習：連結会計①～⑤までの内容が仕訳できるように復習しておく（電卓持参） 復習：指示された問題を解く	120分

14	連結会計⑦（連結総合問題演習）	予習・復習：指示された問題を解く	120分
15	まとめ	予習・復習：指示された問題を解く	120分

⑫ アクティブラーニングについて	
知識定着・確認型 AL を採用する。適宜小テストや課題等を行い、その解説を行うことで知識の定着を図る。	

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	
実務経験と授業科目との関連性	